

# 岡安証券

## ～注目・外株銘柄～

### (2023年5月)

#### 【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2023年4月27日現在)

<4月に追加>

P1 【ハイテク主力】 **メタ・プラットフォームズ(META)**

<継続>

P2 【ハイテク主力】 **アップル(AAPL)**

P3 【ハイテク主力】 **アルファベット(GOOG)**

P4 【クラウド】 **アマゾン・ドット・コム(AMZN)**

P5 【クラウド】 **マイクロソフト(MSFT)**

P6 【動画配信】 **ネットフリックス(NFLX)**

P7 【娯楽】 **ウォルト・ディズニー(DIS)**

P8 【IT大手】 **IBM(IBM)**

P9 【半導体】 **エヌビディア(NVDA)**

P10 【半導体】 **アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)**

P11 【半導体】 **ASMLホールディングADR(ASML)**

P12 【セキュリティ】 **パロアルト・ネットワークス(PANW)**

P13 【電気自動車】 **テスラ(TSLA)**

P14 【民間旅客機】 **ボーイング(BA)**

P15 【生活必需品】 **プロクター&ギャンブル(PG)**

P16 【飲料】 **コカ・コーラ(KO)**

P17 【製薬大手】 **イーライ・リリー(LLY)**

P18 【製薬大手】 **ファイザー(PFE)**

P19 【医療機器】 **インテュイティブ・サージカル(ISRG)**

P20 【石油メジャー】 **シェブロン(CVX)**

<追加>

**米SNS運営世界最大手**

<継続>

**デジタルIT機器の設計・販売大手**

**インターネット検索世界最大手**

**インターネット小売世界最大手**

**ソフトウェア世界最大手**

**動画配信世界最大手**

**世界最大の娯楽・エンタメ企業**

**IT業界の老舗企業**

**画像処理半導体(GPU)開発企業**

**米ロジック半導体大手**

**オランダの半導体製造装置大手**

**次世代ファイアウォール機器専業大手**

**米電気自動車(EV)大手**

**世界最大級の民間旅客機製造企業**

**世界最大の日用品メーカー**

**グローバル展開の飲料大手**

**米製薬大手**

**製薬世界最大手**

**手術ロボット世界最大手**

**ダウ採用の世界的石油メジャー**

メタ・プラットフォームズ(META)

38億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

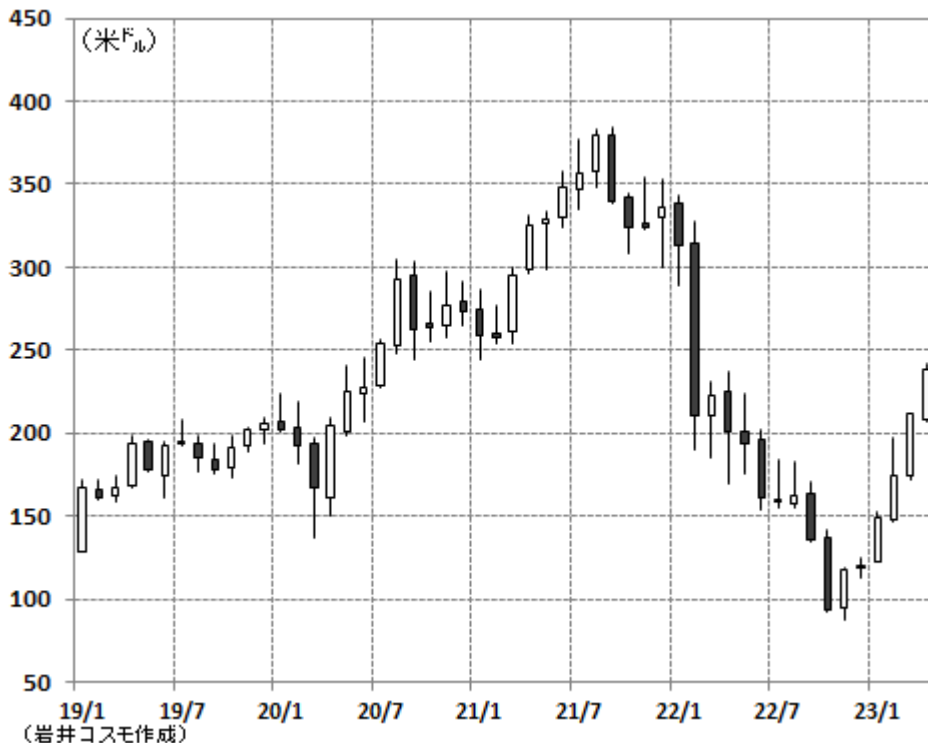
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で38.1億人(23年1-3月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約77,114人(23年3月末時点)。

注目ポイント

□ **対話型AIを公開**: メタは2月24日、対話や文章の生成ができる人工知能(AI)の新たな言語モデル「LLaMA」を発表した。新たなモデルは研究者向けに限定公開となる。「LLaMA」はAIの規模を示す「パラメータ」の数が最大650億で、米オープンAIの言語モデル「GPT3」の1,750億より小さいが、性能は「GPT3」を上回るとした。

□ **サブスクを開始**: メタは2月19日、フェイスブックとインスタグラムでサブスクリプション(継続課金)有料サービス「メタ・ヘルプアイト」を開始すると発表。料金は月額11.99ドルで、ユーザーはアカウントの認証バッジや人目に触れやすくするビシビリティ(視認性)の向上などのサービスが受けられる。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 238.56 ( 04/27 )               |
| 52週高値(日付) | 241.68 ( 23/04/27 )            |
| 52週安値(日付) | 88.1 ( 22/11/04 )              |
| 時価総額      | 6,114億ドル<br>81兆9046億円          |
| 株価変化率(%)  | 140.5 (過去6ヶ月間)<br>16.0 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) |                |
|----------------|----------------|
| 実績PER          | 21.6 (倍)       |
| 株価売上高比率        | 5.4 (倍)        |
| PBR            | 4.9 (倍)        |
| 税前配当利回り(%)     | 無配 (直近年率)      |
| 配当成長率(%)       | — (過去1年間)      |
| 株主資本利益率(ROE)   | 17.3 (%)       |
| 株式ベータ          | 1.19 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 117,929       | 37         | 46,753         | 43         | 39,370         | 35         | 13.77        | 0.00       |
| 2022/12 | 116,609       | -1         | 28,944         | -38        | 23,200         | -41        | 8.59         | 0.00       |

四半期業績

|         |        |   |       |     |       |     |      |      |
|---------|--------|---|-------|-----|-------|-----|------|------|
| 2022/Q1 | 27,908 | — | 8,524 | —   | 7,465 | —   | 2.72 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 28,645 | 3 | 7,227 | -15 | 5,709 | -24 | 2.20 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

**アップル(AAPL)**

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

**デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。**

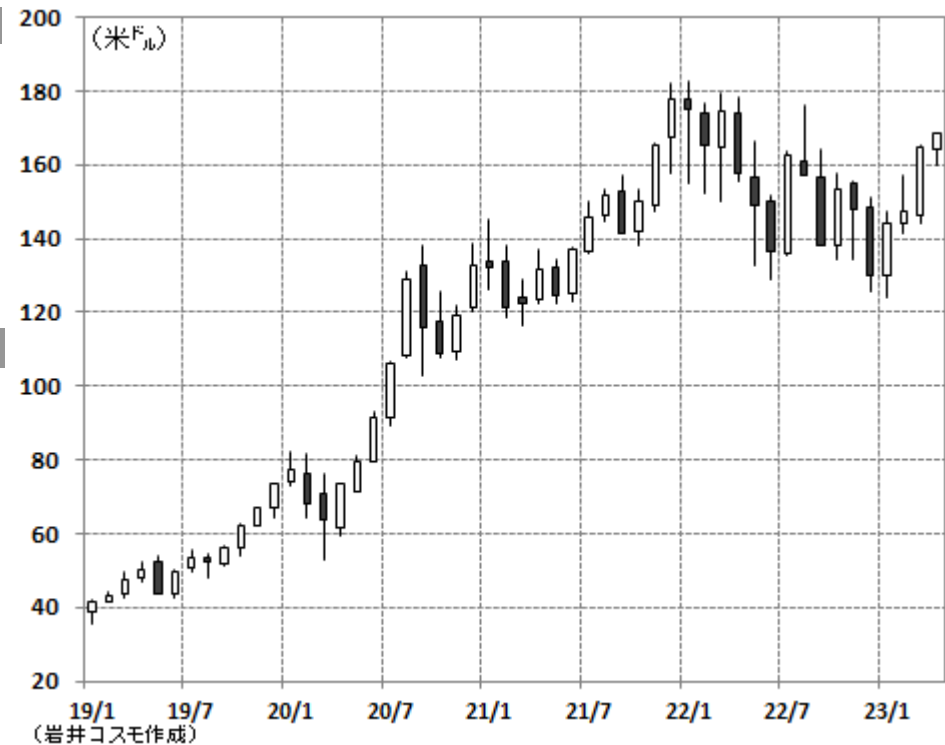
## 会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

## 注目ポイント

□ **米国で預金サービスを提供**：アップルは4月17日、同社の米国のクレジットカード利用者向けに、年4.15%の利率で預金サービスの提供を始めたと発表。口座の管理は米ゴールドマン・サックスが担う。高めの金利で消費者を引き付け、「アップル経済圏」の拡大を目論む。

□ **年次開発者会議「WWDC」を6月に開催**：アップルは年次開発者会議「WWDC」を6月5日から9日にかけて開催すると発表。オンラインでの開催で、初日の5日には一部の開発者や学生をカリフォルニア州の本社に招いてイベントを開く。米メディアでは、拡張現実(AR)端末の発表が予想されている。



株価チャート (2019年以降・月足)

### 株価データ

|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 株価(米ドル)   | 168.41 ( 04/27 )            |
| 52週高値(日付) | 176.15 ( 22/08/17 )         |
| 52週安値(日付) | 124.18 ( 23/01/03 )         |
| 時価総額      | 2兆6,646億ドル<br>356兆9730億円    |
| 株価変化率(%)  | 8.1 (過去6ヶ月間)<br>2.9 (過去1年間) |

### 株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | 28.6 (倍)       |
| 株価売上高比率      | 7.0 (倍)        |
| PBR          | 47.0 (倍)       |
| 税前配当利回り(%)   | 0.55 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)     | 4.5 (過去1年間)    |
| 株主資本利益率(ROE) | 147.9 (%)      |
| 株式ベータ        | 1.15 (対S&P500) |

### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/09 | 365,817       | 33         | 108,949        | 64         | 94,680         | 65         | 5.61         | 0.865      |
| 2022/09 | 394,328       | 8          | 119,437        | 10         | 99,803         | 5          | 6.11         | 0.900      |

### 四半期業績

|         |         |    |        |     |        |     |      |       |
|---------|---------|----|--------|-----|--------|-----|------|-------|
| 2022/Q1 | 123,945 | —  | 41,488 | —   | 34,630 | —   | 2.10 | 0.220 |
| 2023/Q1 | 117,154 | -5 | 36,016 | -13 | 29,998 | -13 | 1.88 | 0.230 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告の次の収益基盤を模索

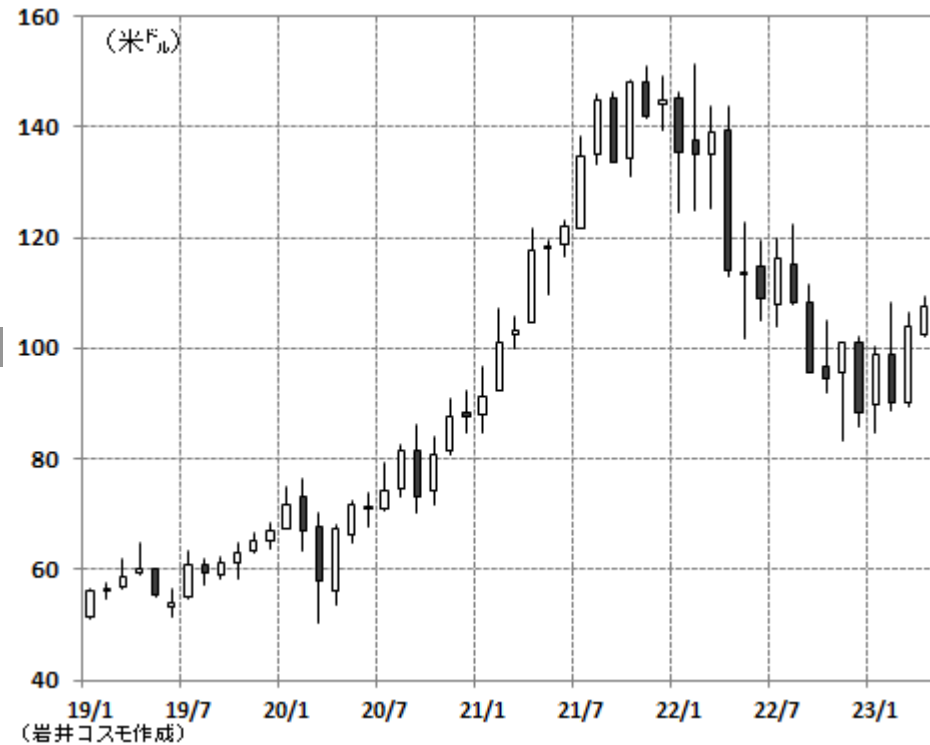
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,771人(23年3月末)。

注目ポイント

□ **大規模な人員削減を開始**: グーグルは1月20日、世界で約12,000人の社員を削減すると発表。持株会社であるアルファベットの社員の約6%に相当する規模となる。スタン・ピチャイ最高経営責任者(CEO)は、「事業の焦点を絞り、コスト構造を見直し、人材と資金を優先度の高い分野に振り向ける」と説明した。

□ **対話型AI「バード」を開始**: グーグルは3月21日、対話型AI(人工知能)を搭載した検索サービス「バード」を開始したと発表。21日から米国と英国で一部利用者を対象にサービスを開始し、日本など他国にも順次拡大する。対話型AIに関しては、「チャットGPT」との連携を強化するマイクロソフトが先行しており、巨大IT企業による競争が激化している。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 107.59 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 122.824 ( 22/05/04 )          |
| 52週安値(日付) | 83.34 ( 22/11/03 )            |
| 時価総額      | 1兆3,710億ドル<br>183兆6723億円      |
| 株価変化率(%)  | 11.7 (過去6ヶ月間)<br>-9.2 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) |                |
|----------------|----------------|
| 実績PER          | 22.2 (倍)       |
| 株価売上高比率        | 4.9 (倍)        |
| PBR            | 5.2 (倍)        |
| 税前提当利回り(%)     | 無配 (直近年率)      |
| 配当成長率(%)       | — (過去1年間)      |
| 株主資本利益率(ROE)   | 22.8 (%)       |
| 株式ベータ          | 1.15 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 257,637       | 41         | 78,714         | 91         | 76,033         | 89         | 5.61         | 0.00       |
| 2022/12 | 282,836       | 10         | 74,842         | -5         | 59,972         | -21        | 4.56         | 0.00       |

四半期業績

|         |        |   |        |     |        |    |      |      |
|---------|--------|---|--------|-----|--------|----|------|------|
| 2022/Q1 | 68,011 | — | 20,094 | —   | 16,436 | —  | 1.23 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 69,787 | 3 | 17,415 | -13 | 15,051 | -8 | 1.17 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

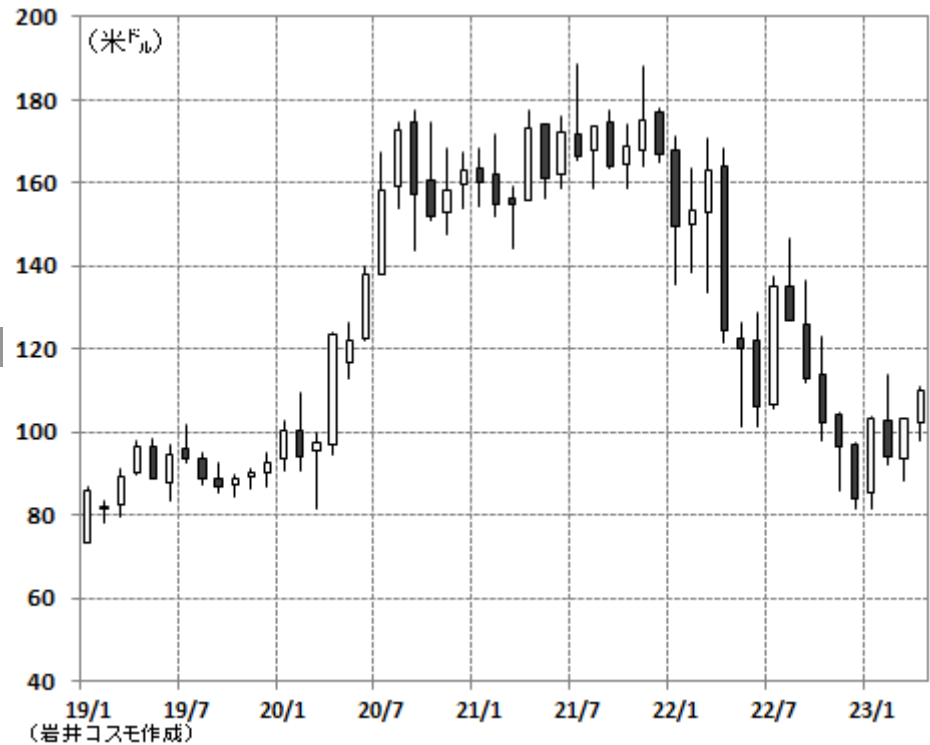
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **生成AIに参入**: アマゾンは4月13日、クラウドを通じ、文書などを自動で作成する生成人工知能 (AI) を提供すると発表。クラウド事業のAWSを通じて、自社開発の生成AIや新興企業が開発した技術の基盤を提供する。生成AIを巡っては、マイクロソフトなどの米IT大手が開発を競っており、アマゾンは外部の技術も活用することで差別化を図る。

□ **従業員の追加削減を発表**: アマゾンは3月20日、従業員9,000人を追加削減すると発表した。1月までに約18,000人の解雇を決めていたが、今回は稼ぎ頭のクラウド部門や広告事業で新たに人を減らす。4月中をめどに再編の詳細を詰めるとした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

|            |                               |
|------------|-------------------------------|
| 株価 (米ドル)   | 109.82 ( 04/27 )              |
| 52週高値 (日付) | 146.57 ( 22/08/16 )           |
| 52週安値 (日付) | 81.44 ( 23/01/06 )            |
| 時価総額       | 1兆1,254億ドル<br>150兆7637億円      |
| 株価変化率 (%)  | 6.2 (過去6ヶ月間)<br>-24.1 (過去1年間) |

株価指標 (バリュエーション)

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 実績PER         | 120.3 (倍)        |
| 株価売上高比率       | 2.1 (倍)          |
| PBR           | 7.7 (倍)          |
| 税前配当利回り (%)   | 無配 ( 直近年率 )      |
| 配当成長率 (%)     | — ( 過去1年間 )      |
| 株主資本利益率 (ROE) | -1.9 (%)         |
| 株式ベータ         | 1.30 ( 対S&P500 ) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 469,822       | 22         | 24,879         | 9          | 33,364         | 56         | 3.24         | 0.00       |
| 2022/12 | 513,983       | 9          | 12,248         | -51        | -2,722         | 赤転         | -0.27        | 0.00       |

四半期業績

|         |         |   |       |    |        |    |       |      |
|---------|---------|---|-------|----|--------|----|-------|------|
| 2022/Q1 | 116,444 | — | 3,669 | —  | -3,844 | —  | -0.38 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 127,358 | 9 | 4,774 | 30 | 3,172  | 黒転 | 0.31  | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。



社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

## ソフトウェア世界最大手。生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

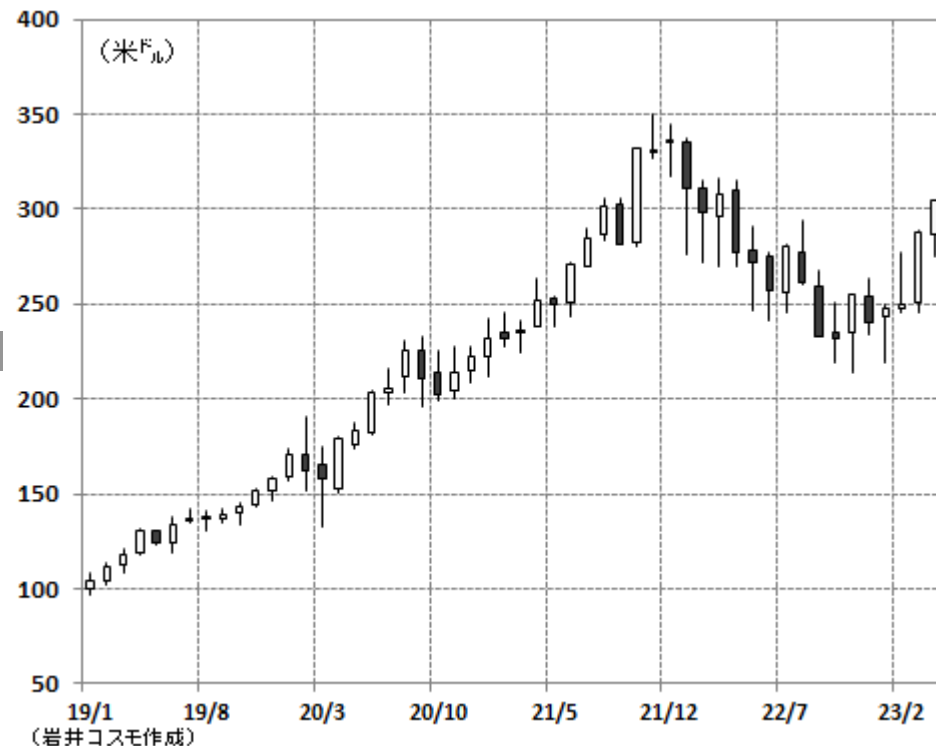
### 会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

### 注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長役である。

□ **対話型AIを「エクセル」や「パワーポイント」に応用**: マイクロソフトは3月16日、対話型AIを「エクセル」や「パワーポイント」に搭載すると発表した。「エクセル」では、「グラフを作って」と指示すれば数秒でAIがグラフを自動作成してくれるようになる。



株価チャート (2019年以降・月足)

### 株価データ

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 304.83 ( 04/27 )             |
| 52週高値(日付) | 305.17 ( 23/04/27 )          |
| 52週安値(日付) | 213.46 ( 22/11/04 )          |
| 時価総額      | 2兆2,666億ドル<br>303兆6510億円     |
| 株価変化率(%)  | 29.2 (過去6ヶ月間)<br>5.2 (過去1年間) |

### 株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | 32.5 (倍)       |
| 株価売上高比率      | 10.9 (倍)       |
| PBR          | 11.6 (倍)       |
| 税前配当利回り(%)   | 0.89 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)     | 10.2 (過去1年間)   |
| 株主資本利益率(ROE) | 38.6 (%)       |
| 株式ベータ        | 1.12 (対S&P500) |

### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/06 | 168,088       | 18         | 69,916         | 32         | 61,271         | 38         | 8.05         | 2.24       |
| 2022/06 | 198,270       | 18         | 83,383         | 19         | 72,738         | 19         | 9.65         | 2.48       |

### 四半期業績

|         |        |   |        |    |        |   |      |      |
|---------|--------|---|--------|----|--------|---|------|------|
| 2022/Q3 | 49,360 | — | 20,364 | —  | 16,728 | — | 2.22 | 0.62 |
| 2023/Q3 | 52,857 | 7 | 22,352 | 10 | 18,299 | 9 | 2.45 | 0.68 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手。広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

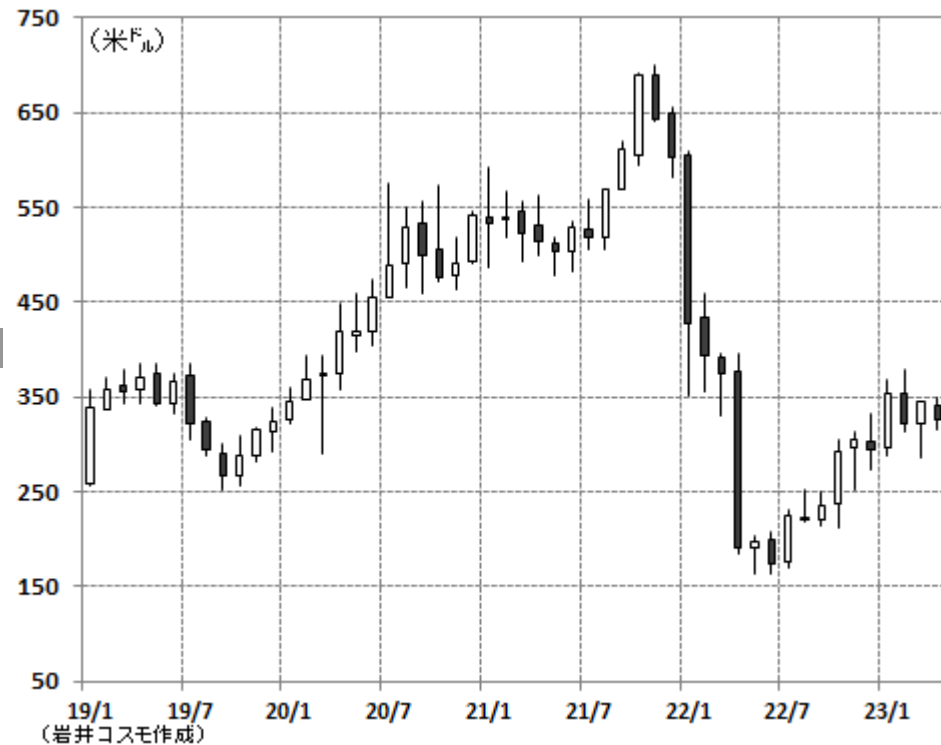
### 会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信（ストリーミング）を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。21年には韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始した。

### 注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処**：Netflixは他人のアカウントを共有している米国の視聴者に厳しく対応する措置を4-6月期に開始する。同社は1億人超が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定。アカウント共有を規制することで、今後の会員数が押し上げられる可能性がある。先行して共有を厳格化したカナダでは、顧客基盤が拡大している。

□ **下期の成長加速を見込む**：23年1-3月期の決算では、3月末時点の有料会員数が12月末と比較して175万人の増加にとどまった。ただ会社側は、パスワード共有への対応や広告付きサービスの拡大で「23年下期を通して成長が加速する」と楽観的な見通しを示した。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 325.85 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 379.37 ( 23/02/03 )           |
| 52週安値(日付) | 162.81 ( 22/05/12 )           |
| 時価総額      | 1,449億ドル<br>19兆4,061億円        |
| 株価変化率(%)  | 10.2 (過去6ヶ月間)<br>63.3 (過去1年間) |

| 株価指標 (バリュエーション) |                  |
|-----------------|------------------|
| 実績PER           | 37.6 (倍)         |
| 株価売上高比率         | 4.5 (倍)          |
| PBR             | 6.6 (倍)          |
| 税前配当利回り(%)      | 無配 ( 直近年率 )      |
| 配当成長率(%)        | — ( 過去1年間 )      |
| 株主資本利益率(ROE)    | 21.3 (%)         |
| 株式ベータ           | 1.46 ( 対S&P500 ) |

### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 29,698        | 19         | 6,195          | 35         | 5,116          | 85         | 11.24        | 0.00       |
| 2022/12 | 31,616        | 6          | 5,633          | -9         | 4,492          | -12        | 9.95         | 0.00       |

### 四半期業績

|         |       |   |       |     |       |     |      |      |
|---------|-------|---|-------|-----|-------|-----|------|------|
| 2022/Q1 | 7,868 | — | 1,972 | —   | 1,597 | —   | 3.53 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 8,162 | 4 | 1,714 | -13 | 1,305 | -18 | 2.88 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

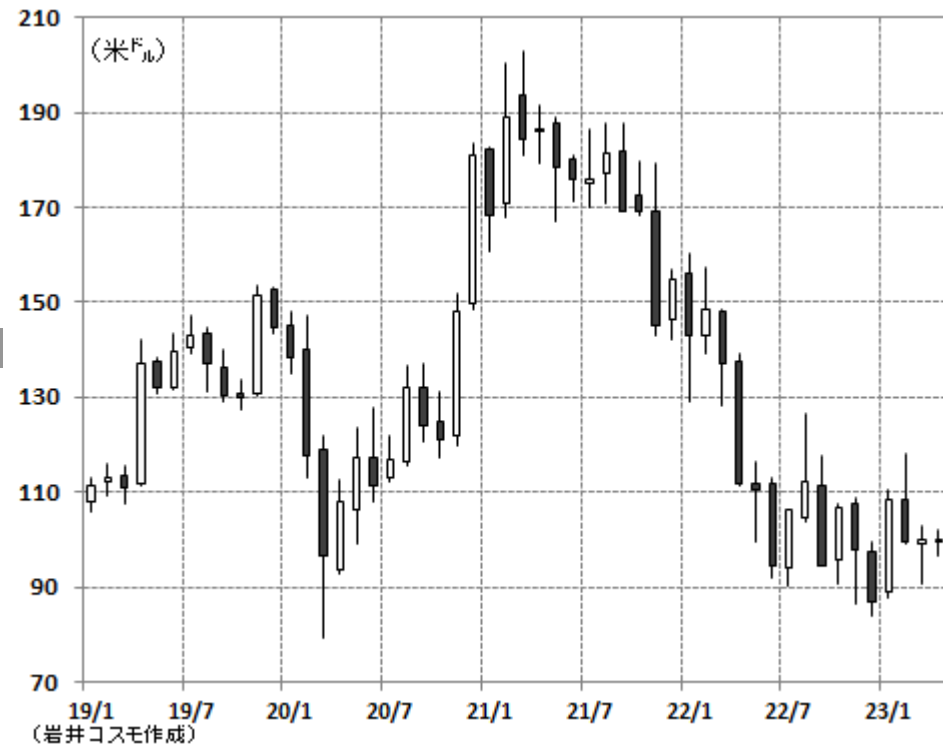
#### 会社概要

1923年設立の世界的な一大娯楽・メディア企業。「ミッキー・マウス」等のキャラクターを映画/アニメ化で世に送り、商品化・ライセンス管理まで手掛けるほか、テーマパークやホテルを米国等各地で展開。メディアでは米3大ネットワークのABCを保有。2019年3月に21世紀フォックスの映画事業を買収。近年は、動画配信サービス「ディズニープラス」に経営資源を集中。NYダウ工業株平均構成銘柄。

#### 注目ポイント

□ **大規模なリストラ策を発表、復配方針も示す**：ディズニープラスは2月8日、大規模なコスト削減策を発表。従業員の3%にあたる約7,000人を削減するほか、広告費やコンテンツ費も見直し、赤字が続く動画配信サービスを立て直す。また、コロナ禍で一時停止中の配当支払いに関しても、23年末までに復配する方針を示した。

□ **ヘルツ氏が委任状争奪戦を取りやめ**：著名アクティビスト(モノ言う株主)のネルソン・ヘルツ氏は2月9日、ディズニープラスに対する委任状争奪戦を取りやめると発表。ディズニープラスが人員削減を含む大規模なコスト削減策を発表したことで方針を転換した。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                                |
|-----------|--------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 99.93 ( 04/27 )                |
| 52週高値(日付) | 126.48 ( 22/08/16 )            |
| 52週安値(日付) | 84.07 ( 22/12/28 )             |
| 時価総額      | 1,826億ドル<br>24兆4,568億円         |
| 株価変化率(%)  | -5.7 (過去6ヶ月間)<br>-13.3 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) |                |
|----------------|----------------|
| 実績PER          | 39.0 (倍)       |
| 株価売上高比率        | 2.2 (倍)        |
| PBR            | 1.9 (倍)        |
| 税引前配当利回り(%)    | 無配 (直近年率)      |
| 配当成長率(%)       | — (過去1年間)      |
| 株主資本利益率(ROE)   | 3.6 (%)        |
| 株式ベータ          | 1.13 (対S&P500) |

#### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 税引前利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|-----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/09 | 67,418        | 3          | 2,561           | 黒転         | 1,995          | 黒転         | 1.09         | 0.00       |
| 2022/09 | 82,722        | 23         | 5,285           | 106        | 3,145          | 58         | 1.72         | 0.00       |

#### 四半期業績

|         |        |   |       |   |       |    |      |      |
|---------|--------|---|-------|---|-------|----|------|------|
| 2022/Q1 | 21,819 | — | 1,688 | — | 1,104 | —  | 0.60 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 23,512 | 8 | 1,773 | 5 | 1,279 | 16 | 0.70 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。



## 分社化で組織再編したIT(情報技術)業界の老舗。融合型クラウド、ブロックチェーンで巻き返しを図る

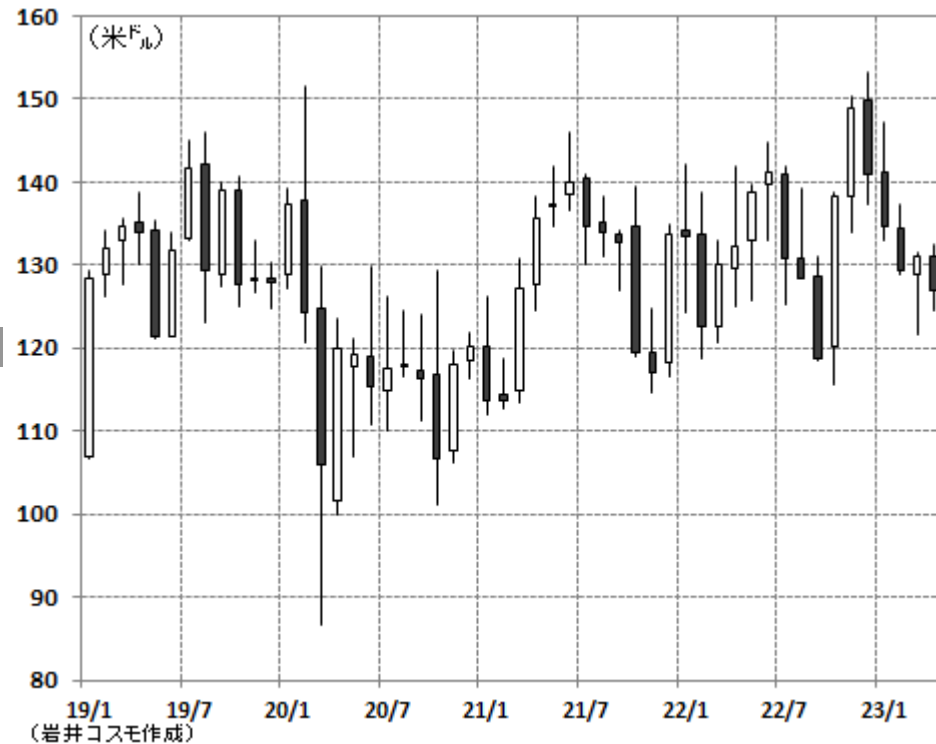
### 会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許取得の年間件数では28年連続の首位。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだ。他方、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

### 注目ポイント

□ **組織再編進展、ハイブリッドクラウド強化**: 2019年にオープンソース大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」と人工知能(AI)等の分野に経営資源のシフトを図った。

□ **「ワトソン」と「GPT-4」を融合**: 日本IBMと三井化学は、米IBMの「IBMワトソン」と米オープンAIが開発した生成AIエンジン「GPT-4」を組み合わせたAI活用の実証実験を開始した。2つのAIの得意分野を組み合わせることによって、製品の新しい用途を高精度かつ短時間で探索できるかを検証し、事業への応用を探る。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 126.97 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 153.16 ( 22/12/13 )           |
| 52週安値(日付) | 115.55 ( 22/10/13 )           |
| 時価総額      | 1,153億ドル<br>15兆4,460億円        |
| 株価変化率(%)  | -8.3 (過去6ヶ月間)<br>-6.5 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) |                  |
|----------------|------------------|
| 実績PER          | 14.7 (倍)         |
| 株価売上高比率        | 1.9 (倍)          |
| PBR            | 5.3 (倍)          |
| 税引前配当利回り(%)    | 5.23 ( 直近年率 )    |
| 配当成長率(%)       | 0.6 ( 過去1年間 )    |
| 株主資本利益率(ROE)   | 9.0 (%)          |
| 株式ベータ          | 0.74 ( 対S&P500 ) |

### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 税引前利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|-----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 57,350        | —          | 4,837           | —          | 5,743          | —          | 6.35         | 6.55       |
| 2022/12 | 60,530        | 6          | 1,156           | -76        | 1,639          | -71        | 1.80         | 6.59       |

### 四半期業績

|         |        |   |       |    |     |    |      |      |
|---------|--------|---|-------|----|-----|----|------|------|
| 2022/Q1 | 14,197 | — | 623   | —  | 733 | —  | 0.81 | 1.64 |
| 2023/Q1 | 14,252 | 0 | 1,058 | 70 | 927 | 26 | 1.01 | 1.65 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

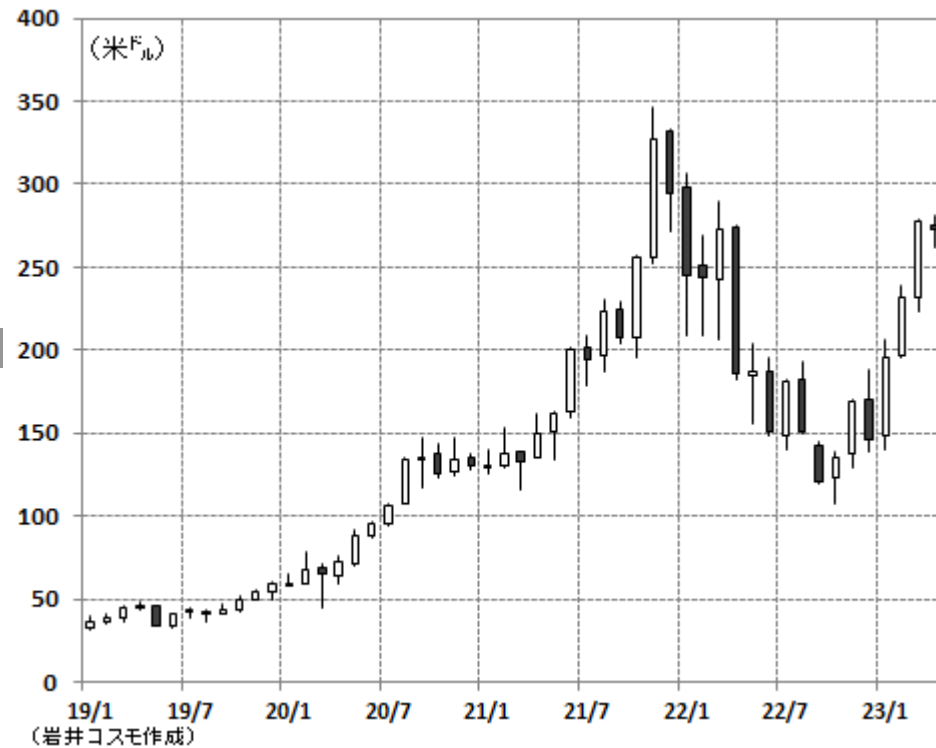
### 「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

#### 会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、ゲーム市場向けが46%、視覚化技術に関するプロ向けが8%、AIを含むデータセンター向けが39%、自動車向けが2%、OEM&IPが4%(22年1月期)。

#### 注目ポイント

- **「AI」の計算処理に同社GPUが活躍**: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- **AIに関する新しいプラットフォームを発表**: エヌビディアは3月21日、年次開発者会議「GTC」の中で、開発者が特別な人工知能(AI)モデルを構築できる新しいプラットフォームを発売すると発表。ジェンソン・ファン最高経営責任者(CEO)は、画像生成用の「L40」や大規模言語モデル展開用の「H100NVL」などを紹介した。



株価チャート (2019年以降・月足)

#### 株価データ

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 272.26 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 281.08 ( 23/04/18 )           |
| 52週安値(日付) | 108.14 ( 22/10/13 )           |
| 時価総額      | 6,725億ドル<br>90兆0,924億円        |
| 株価変化率(%)  | 96.8 (過去6ヶ月間)<br>37.6 (過去1年間) |

#### 株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | 118.6 (倍)      |
| 株価売上高比率      | 25.1 (倍)       |
| PBR          | 30.4 (倍)       |
| 税前提当利回り(%)   | 0.06 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)     | 0.0 (過去1年間)    |
| 株主資本利益率(ROE) | 17.9 (%)       |
| 株式ベータ        | 1.67 (対S&P500) |

#### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2022/01 | 26,914        | 61         | 10,041         | 122        | 9,752          | 125        | 3.85         | 0.16       |
| 2023/01 | 26,974        | 0          | 4,224          | -58        | 4,368          | -55        | 1.74         | 0.16       |

#### 四半期業績

|         |       |     |       |     |       |     |      |      |
|---------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------|------|
| 2022/Q4 | 7,643 | —   | 2,970 | —   | 3,003 | —   | 1.18 | 0.04 |
| 2023/Q4 | 6,051 | -21 | 1,257 | -58 | 1,414 | -53 | 0.57 | 0.04 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー。市場シェア獲得に期待

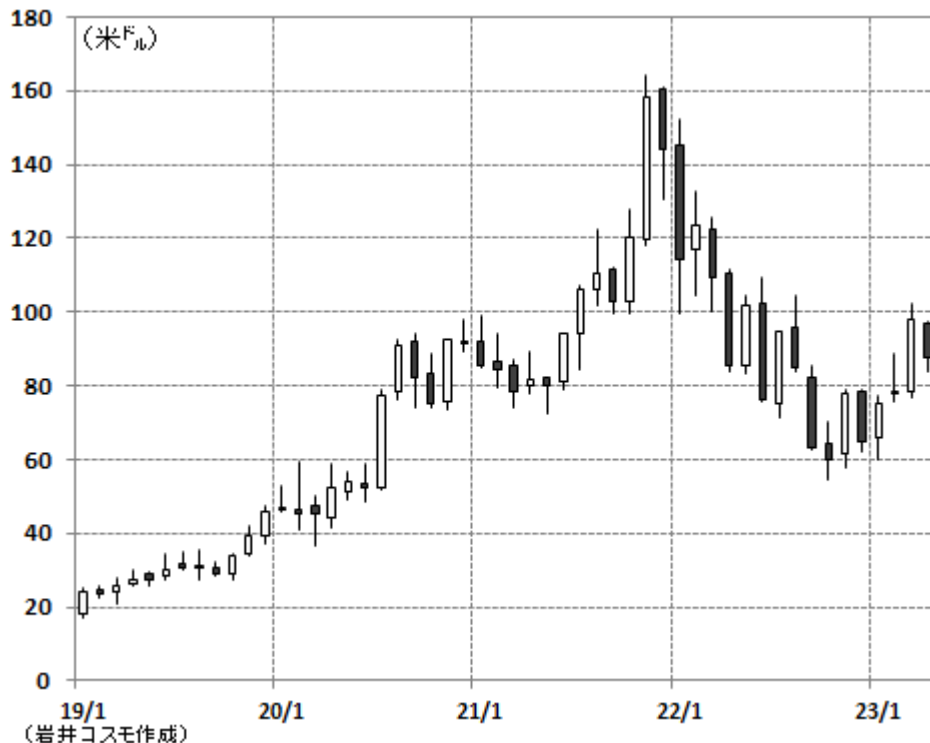
#### 会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

#### 注目ポイント

**□インテルやエヌビディアに大きく劣後も巻き返し目指す:** AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な半導体企業。ただPCやサーバ向けCPUがインテルが圧倒的シェア。GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝している。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、半導体の性能に大きな影響を与える微細化でインテルに先行、巨人インテルの牙城の切り崩しにかかる。

**□時価総額でインテル越え:** 22年10-12月期決算では、PC向けのクライアント部門が低調となる一方で、データセンター向けは好調を維持。23年1月後半以降、時価総額ではライバルのインテルを上回る日が続く。



株価チャート (2019年以降・月足)

#### 株価データ

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 87.44 ( 04/27 )               |
| 52週高値(日付) | 109.57 ( 22/06/06 )           |
| 52週安値(日付) | 54.58 ( 22/10/13 )            |
| 時価総額      | 1,407億ドル<br>18兆8,531億円        |
| 株価変化率(%)  | 41.0 (過去6ヶ月間)<br>-2.5 (過去1年間) |

#### 株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | 76.0 (倍)       |
| 株価売上高比率      | 5.8 (倍)        |
| PBR          | 2.6 (倍)        |
| 税前提当利回り(%)   | 無配 (直近年率)      |
| 配当成長率(%)     | — (過去1年間)      |
| 株主資本利益率(ROE) | 4.2 (%)        |
| 株式ベータ        | 1.53 (対S&P500) |

#### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 16,434        | 68         | 3,648          | 166        | 3,162          | 27         | 2.57         | 0.00       |
| 2022/12 | 23,601        | 44         | 1,264          | -65        | 1,320          | -58        | 0.84         | 0.00       |

#### 四半期業績

|         |       |    |       |    |     |     |      |      |
|---------|-------|----|-------|----|-----|-----|------|------|
| 2021/Q4 | 4,826 | —  | 1,207 | —  | 974 | —   | 0.80 | 0.00 |
| 2022/Q4 | 5,599 | 16 | -149  | 赤転 | 21  | -98 | 0.01 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

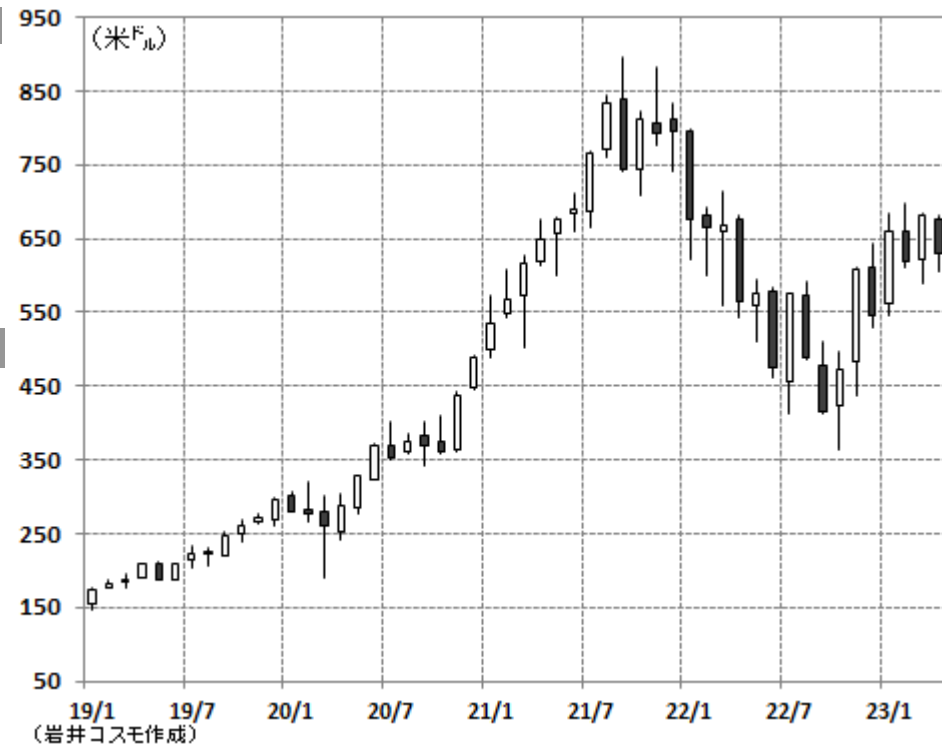
会社概要

オランダの半導体製造装置メカ。半導体製造工程の前工程の装置メカの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホーヘン、従業員数は37,704人(23年4月時点)。

注目ポイント

□**EUV露光で世界をリード**：世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、22年度は前年比2台減の40台を出荷した。

□**好調なガイダンスを提示**：4月19日に発表した決算の中で、23年4-6月期のガイダンスを提示。売上高を65億~70億ユーロとし、市場予想の64.2億ユーロを下限でも上回った。会社側は、同社の半導体製造装置の総需要が年内は供給能力を上回り続けると指摘した。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 629.24 ( 04/27 )                   |
| 52週高値(日付) | 698.57 ( 23/02/02 )                |
| 52週安値(日付) | 363.31 ( 22/10/13 )                |
| 時価総額      | 2,537億 <sup>ドル</sup><br>33兆9,843億円 |
| 株価変化率(%)  | 28.6 (過去6ヶ月間)<br>6.6 (過去1年間)       |

| 株価指標(バリュエーション) |                |
|----------------|----------------|
| 実績PER          | 33.1 (倍)       |
| 株価売上高比率        | 9.3 (倍)        |
| PBR            | 23.5 (倍)       |
| 税前提当利回り(%)     | 1.17 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)       | 41.9 (過去1年間)   |
| 株主資本利益率(ROE)   | 73.5 (%)       |
| 株式ベータ          | 1.60 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ユーロ) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ユーロ) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ユーロ) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ユーロ) | 配当<br>(ユーロ) |
|---------|----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|------------|---------------|-------------|
| 2021/12 | 18,611         | —          | 6,750           | —          | 5,883           | —          | 14.34         | 3.35        |
| 2022/12 | 21,173         | 14         | 6,501           | -4         | 5,624           | -4         | 14.13         | 6.44        |

四半期業績

|         |       |    |       |      |       |      |      |   |
|---------|-------|----|-------|------|-------|------|------|---|
| 2022/Q1 | 3,534 | —  | 785   | —    | 695   | —    | 1.73 | — |
| 2023/Q1 | 6,746 | 91 | 2,205 | 2.8倍 | 1,956 | 2.8倍 | 4.95 | — |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手。インターネットセキュリティ関連の代表格

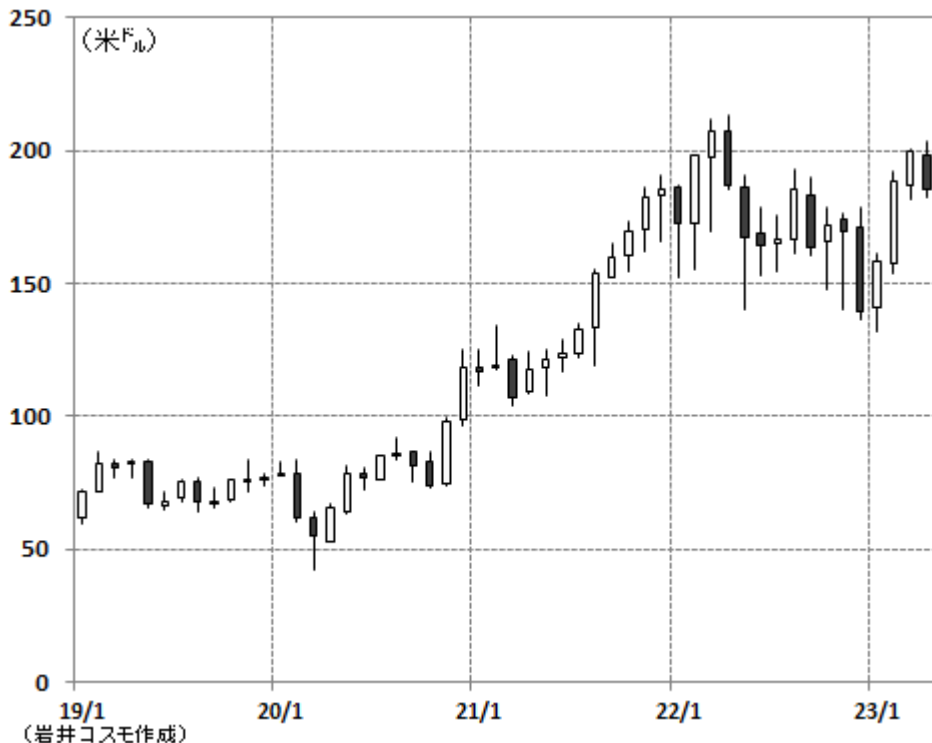
会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代のファイアウォールの特徴は、包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□ **セキュリティ対策は企業のIT投資の最優先事項**：不正アクセスによる個人情報・顧客情報の流出により、米国ではトップが引責辞任する等、各社対策強化に迫られている。同社は専門の強みを活かしてネットワーク機器大手からシェアを奪いながら急成長。全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ、東京大学、サイバーエージェント、KDDI等に導入実績あり。

□ **ベンダー別の市場シェアは首位**：米調査会社(カナリス社)が発表した22年10-12月期のサイバーセキュリティ市場は前年同期比15%増の196億ドルと2桁の成長を記録。ベンダー別の市場シェアでは、パロアルトが7.9%と前年同期の7.3%からシェアを拡大して、首位を維持した。



株価チャート ( 2019年以降・月足 )

株価データ

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 185.12 ( 04/27 )             |
| 52週高値(日付) | 203.44 ( 23/04/18 )          |
| 52週安値(日付) | 132.22 ( 23/01/12 )          |
| 時価総額      | 560億ドル<br>7兆5,048億円          |
| 株価変化率(%)  | 8.2 (過去6ヶ月間)<br>-5.7 (過去1年間) |

株価指標(バリュエーション)

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 実績PER        | 1,512.0 (倍)      |
| 株価売上高比率      | 9.0 (倍)          |
| PBR          | 76.8 (倍)         |
| 税前配当利回り(%)   | 無配 ( 直近年率 )      |
| 配当成長率(%)     | — ( 過去1年間 )      |
| 株主資本利益率(ROE) | 8.1 (%)          |
| 株式ベータ        | 1.04 ( 対S&P500 ) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/07 | 4,256         | 25         | -304           | 赤継         | -499           | 赤継         | -1.73        | 0.00       |
| 2022/07 | 5,502         | 29         | -189           | 赤継         | -267           | 赤継         | -0.90        | 0.00       |

四半期業績

|         |       |    |     |    |     |    |       |      |
|---------|-------|----|-----|----|-----|----|-------|------|
| 2022/Q2 | 1,317 | —  | -74 | —  | -94 | —  | -0.32 | 0.00 |
| 2023/Q2 | 1,655 | 26 | 40  | 黒転 | 84  | 黒転 | 0.25  | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。



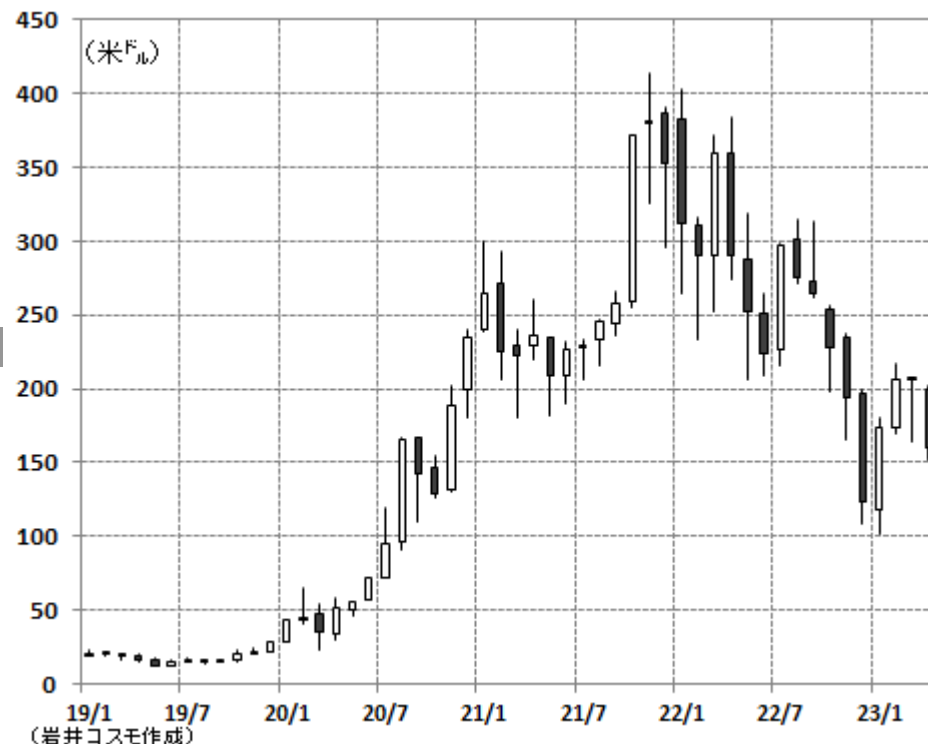
従来の概念を覆した高級電気自動車メーカー

会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカリスマ経営者として知られる。

注目ポイント

- **メキシコEV新工場を発表、新車体でコスト半減へ**：テスラは3月1日に開催した投資家向けの説明会の中で、同社として5つ目となる電気自動車(EV)の新工場をメキシコ北部に建設すると発表した。EVの生産コスト半減に向けて開発中の次世代プラットフォーム(車体)に対応し、米国などへの輸出拠点とする。
- **税優遇の対象は全て米国車**：米政府は4月17日、消費者がEVを購入する際に、税優遇の対象になる新たなリストを公表。対象はテスラの「モデル3」や「モデルY」など米国メカの11車種に限られ、日米欧のメカの車種は全て対象外となった。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

|           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| 株 価(米ドル)  | 160.19 ( 04/27 )                |
| 52週高値(日付) | 318.403 ( 22/05/04 )            |
| 52週安値(日付) | 101.83 ( 23/01/06 )             |
| 時 価 総 額   | 5,077億ドル<br>68兆0196億円           |
| 株価変化率(%)  | -29.9 (過去6ヶ月間)<br>-45.2 (過去1年間) |

株価指標 (バリュエーション)

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 実績PER        | 46.6 (倍)         |
| 株価売上高比率      | 5.9 (倍)          |
| PBR          | 10.6 (倍)         |
| 税前配当利回り(%)   | 無配 ( 直近年率 )      |
| 配当成長率(%)     | — ( 過去1年間 )      |
| 株主資本利益率(ROE) | 28.6 (%)         |
| 株式ベータ        | 1.63 ( 対S&P500 ) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 53,823        | 71         | 6,523          | 227        | 5,519          | 665        | 1.63         | 0.00       |
| 2022/12 | 81,462        | 51         | 13,656         | 109        | 12,556         | 128        | 3.62         | 0.00       |

四半期業績

|         |        |    |       |     |       |     |      |      |
|---------|--------|----|-------|-----|-------|-----|------|------|
| 2022/Q1 | 18,756 | —  | 3,603 | —   | 3,318 | —   | 0.95 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 23,329 | 24 | 2,664 | -26 | 2,513 | -24 | 0.73 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 航空機製造の世界大手。民間旅客機部門が復活の兆し

#### 会社概要

世界最大の民間機及び軍用機メーカー。回転翼航空機、電子及び防衛システム、ミサイル、ロケットエンジン、衛星、衛星打ち上げ機等の幅広い製品を世界90カ国以上に提供。主力の民間航空機部門は小型機「737MAX」が2度の墜落事故を起こし、出荷・運航を停止していたが、米連邦航空局(FAA)の承認を経て、20年12月に運航を再開。NYダウ工業株平均採用銘柄。

#### 注目ポイント

□ **「737MAX」の一部機体の引き渡しを停止**：ボーイングが主力小型機「737MAX」の一部の機体の引き渡しを停止したことが明らかとなった。垂直尾翼につながる後部胴体の製造品質に問題が発覚。サプライヤーのスピリットエアロシステムズが担当した部分で、同社以外の部品メーカーが担当した機体には問題がなかったとした。

□ **欧州エアバス越え**：ボーイングが23年1-3月期に納入した機体数が四半期ベースの実績としては18年半ば以降で初めて、ライバルの欧州エアバスを上回った。ボーイングはここ数年はトラブル続きで低迷が続いていたが、回復軌道に回帰しつつあることが示唆された。



株価チャート (2019年以降・月足)

#### 株価データ

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 206.04 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 221.32 ( 23/02/14 )           |
| 52週安値(日付) | 113.03 ( 22/06/14 )           |
| 時価総額      | 1,240億ドル<br>16兆6,059億円        |
| 株価変化率(%)  | 43.2 (過去6ヶ月間)<br>33.6 (過去1年間) |

#### 株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | — (倍)          |
| 株価売上高比率      | 1.7 (倍)        |
| PBR          | — (倍)          |
| 税前配当利回り(%)   | 無配 (直近年率)      |
| 配当成長率(%)     | — (過去1年間)      |
| 株主資本利益率(ROE) | — (%)          |
| 株式ベータ        | 1.08 (対S&P500) |

#### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当   |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------|
| 2021/12 | 62,286        | 7          | -2,902         | 赤継         | -4,202         | 赤継         | -7.15        | 0.00 |
| 2022/12 | 66,608        | 7          | -3,547         | 赤継         | -4,935         | 赤継         | -8.30        | 0.00 |

#### 四半期業績

|         |        |    |        |    |        |    |       |      |
|---------|--------|----|--------|----|--------|----|-------|------|
| 2022/Q1 | 13,991 | —  | -1,169 | —  | -1,219 | —  | -2.06 | 0.00 |
| 2023/Q1 | 17,921 | 28 | -149   | 赤継 | -414   | 赤継 | -0.69 | 0.00 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

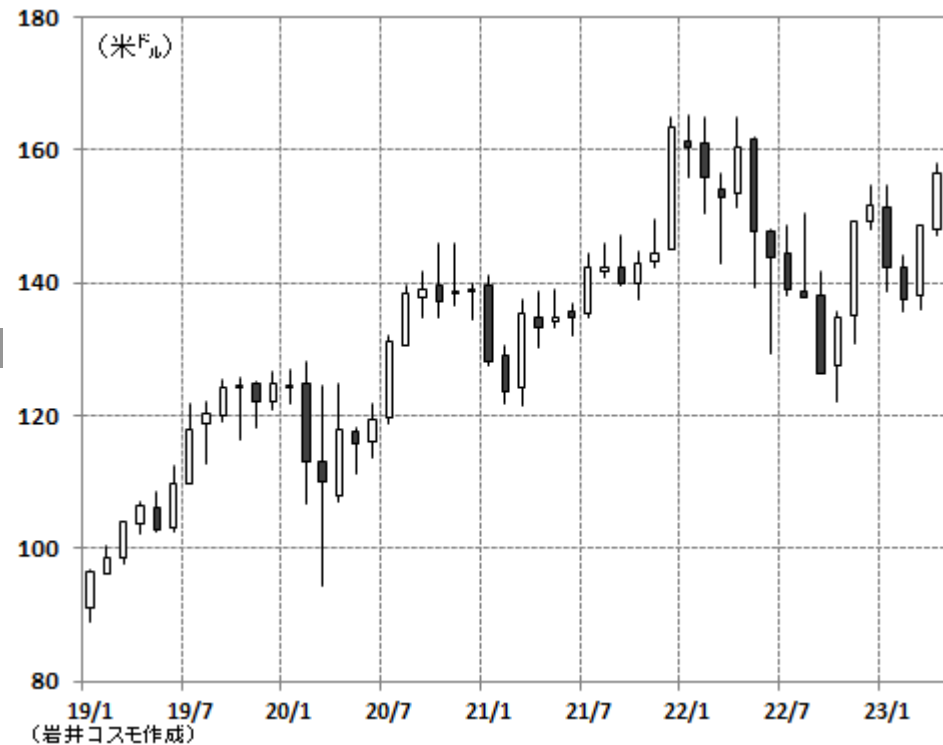
#### 会社概要

世界最大の日用品メカ。「P&G」のブランド名で家庭用品、パーソナルケア用品、工業用製品の製造・販売に従事。世界180ヶ国、約50億人に製品を提供。1857年に設立、本社はオハイオ州シンシナティ。主力製品は洗剤「アリエール」、紙おむつ「パンパース」、化粧品「SK-II」、シャンプー「パンテン」等。22年4月に株主還元では66年連続して増配を宣言。1932年からニューヨークダウ30種平均構成銘柄に名を連ねる。

#### 注目ポイント

□ **インフレ時代の「値上げ力」を市場は評価**: P&Gのジョン・メラ最高経営責任者(CEO)は値上げに関して、「過去18年間のうち、17年間で値上げは売上高にプラスの影響をもたらした。より高いレベルの商品を提供しさえすれば、さらに値上げも可能」との認識を示して値上げ余地を強調する。

□ **値上げが奏功、通期売上高見通しを上方修正**: P&Gが4月21日に発表した1-3月期の決算では、純利益は前年同期比1%増の34.0億ドルだった。インフレに伴う買い控えにより販売量は減少したものの、値上げの浸透により増収増益を確保。23年6月期通期の売上高成長率を前期比1%増とし、従来の▲1%減から上方修正した。



株価チャート (2019年以降・月足)

#### 株価データ

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 156.47 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 163.7 ( 22/04/28 )            |
| 52週安値(日付) | 122.18 ( 22/10/10 )           |
| 時価総額      | 3,688億ドル<br>49兆4,075億円        |
| 株価変化率(%)  | 15.7 (過去6ヶ月間)<br>-4.2 (過去1年間) |

#### 株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | 27.3 (倍)       |
| 株価売上高比率      | 4.6 (倍)        |
| PBR          | 8.3 (倍)        |
| 税前配当利回り(%)   | 2.40 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)     | 4.5 (過去1年間)    |
| 株主資本利益率(ROE) | 31.7 (%)       |
| 株式ベータ        | 0.73 (対S&P500) |

#### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/06 | 76,118        | 7          | 17,986         | 15         | 14,306         | 10         | 5.50         | 3.2419     |
| 2022/06 | 80,187        | 5          | 17,813         | -1         | 14,742         | 3          | 5.81         | 3.5230     |

#### 四半期業績

|         |        |   |       |   |       |   |      |        |
|---------|--------|---|-------|---|-------|---|------|--------|
| 2022/Q3 | 19,381 | — | 4,024 | — | 3,355 | — | 1.33 | 0.8698 |
| 2023/Q3 | 20,068 | 4 | 4,248 | 6 | 3,397 | 1 | 1.37 | 0.9133 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

59年連続増配実績を有する世界を代表する大手飲料メーカー

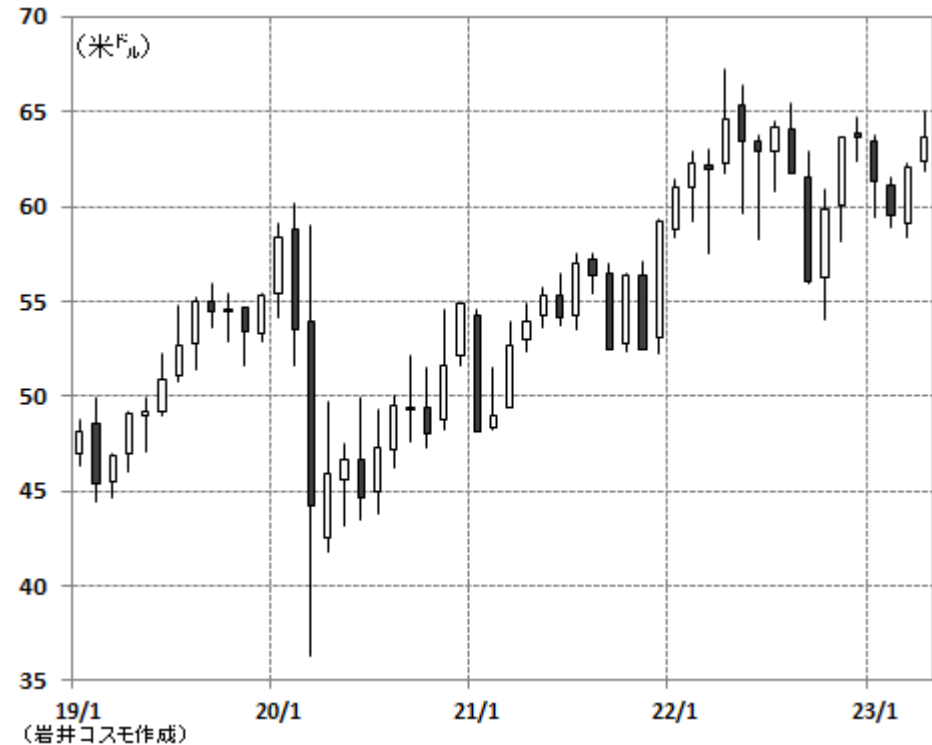
会社概要

世界的な清涼飲料水メカ。世界200超の国や地域で500以上の非アルコール飲料ブランドを製造・販売。世界販売数量の7割前後を炭酸飲料が占める。世界各地の瓶詰め(ボトリング)会社に飲料の原液を販売し、代表商品の「コカ・コーラ」の原液のレシピは、門外不出とされる。筆頭株主はハフェット氏率いるパークシャー・ハサウェ(出資比率9%)。本社はジョージア州アトランタ、NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **ブランド力のあるグローバル企業**：販売数量の8割が米国外とグローバル化が進んだ企業であり、インターブランド社調べのブランド力は飲料・食料品メーカーでトップ。飲料ブランドには「コカ・コーラ」、「ダイエットコーク」、「ミニッツメイド」、「パワーエイト」、「ファンタ」、「スプライト」等のブランドがある。株主還元では、これまで59年連続の増配実績を持ち、同銘柄はS&P500配当貴族指数にも属する。

□ **1-3月期決算は値上げが奏功で増収増益**：コカ・コーラが4月24日に発表した23年1-3月期決算では、純利益が前年同期比12%増の31.0億ドルとなった。値上げが奏功したほか、販売数量も上向いて増収増益を確保した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 63.68 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 66.375 ( 22/05/16 )          |
| 52週安値(日付) | 54.015 ( 22/10/10 )          |
| 時価総額      | 2,754億ドル<br>36兆8,939億円       |
| 株価変化率(%)  | 4.8 (過去6ヶ月間)<br>-3.8 (過去1年間) |

株価指標(バリュエーション)

|              |                |
|--------------|----------------|
| 実績PER        | 25.0 (倍)       |
| 株価売上高比率      | 6.3 (倍)        |
| PBR          | 10.9 (倍)       |
| 税前配当利回り(%)   | 2.89 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)     | 4.7 (過去1年間)    |
| 株主資本利益率(ROE) | 39.4 (%)       |
| 株式ベータ        | 0.72 (対S&P500) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 38,655        | 17         | 10,308         | 15         | 9,771          | 26         | 2.25         | 1.68       |
| 2022/12 | 43,004        | 11         | 10,909         | 6          | 9,542          | -2         | 2.19         | 1.76       |

四半期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2022/Q1 | 10,491        | —          | 3,405          | —          | 2,781          | —          | 0.64         | 0.42       |
| 2023/Q1 | 10,980        | 5          | 3,367          | -1         | 3,107          | 12         | 0.72         | 0.44       |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業。肥満症やアルツハイマー型認知症治療薬に注目集まる

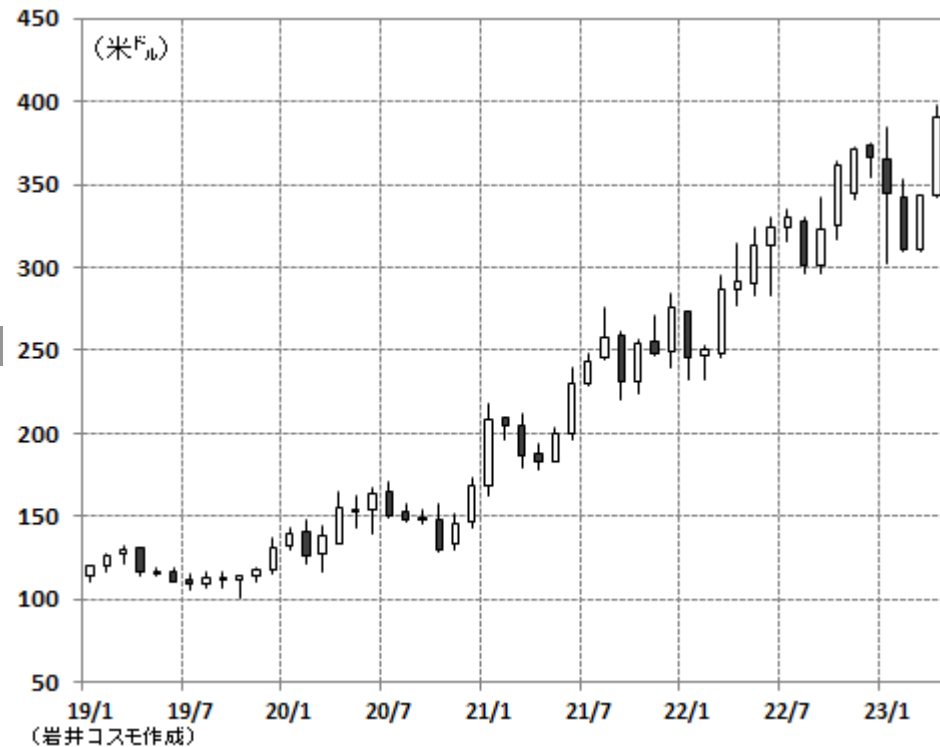
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコジーを買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるフリベイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **アルツハイマー治療薬など、新薬開発が充実**：承認審査中の新薬候補は次の4つがあり、①「レプリキスマブ(アピ・性皮膚炎)」、②「ピルトブルチニブ(白血病・リンパ腫)」、③「ミリキスマス(潰瘍性大腸炎)」、④「ドナネマブ(アルツハイマー型認知症)」。23年末までの上市(承認・販売開始)を見込んでいる。

□ **インスリンを値下げ**：イーライリリーは3月1日、糖尿病治療薬として処方されるインスリン製剤の「ヒュ・マログ」と「ヒュ・マリン」について、23年の10-12月期から定価を70%引き下げると発表。バイデン政権はインスリンの自己負担額を抑える取り組みを推進中で、これに応える形となる。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                              |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 390.35 ( 04/27 )             |
| 52週高値(日付) | 398.05 ( 23/04/27 )          |
| 52週安値(日付) | 283 ( 22/05/11 )             |
| 時価総額      | 3,705億ドル<br>49兆6,424億円       |
| 株価変化率(%)  | 8.5 (過去6ヶ月間)<br>31.3 (過去1年間) |

| 株価指標 (バリュエーション) |                  |
|-----------------|------------------|
| 実績PER           | 54.3 (倍)         |
| 株価売上高比率         | 12.7 (倍)         |
| PBR             | 34.8 (倍)         |
| 税前配当利回り(%)      | 1.16 ( 直近年率 )    |
| 配当成長率(%)        | 15.3 ( 過去1年間 )   |
| 株主資本利益率(ROE)    | 63.6 (%)         |
| 株式ベータ           | 0.73 ( 対S&P500 ) |

| 通期業績    |               |            |                 |            |                |            |              |            |
|---------|---------------|------------|-----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 税引前利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
| 2021/12 | 28,318        | 15         | 6,156           | -15        | 5,582          | -10        | 6.12         | 3.40       |
| 2022/12 | 28,541        | 1          | 6,806           | 11         | 6,245          | 12         | 6.90         | 3.92       |

| 四半期業績   |       |     |       |     |       |     |      |      |
|---------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------|------|
| 決算期     | 売上高   | 前同比 | 税引前利益 | 前同比 | 当期利益  | 前同比 | 1株利益 | 配当   |
| 2022/Q1 | 7,810 | —   | 2,054 | —   | 1,903 | —   | 2.10 | 0.98 |
| 2023/Q1 | 6,960 | -11 | 1,530 | -26 | 1,345 | -29 | 1.49 | 1.13 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。



製薬業界の世界最大手企業。新型コロナ関連で規模が拡大

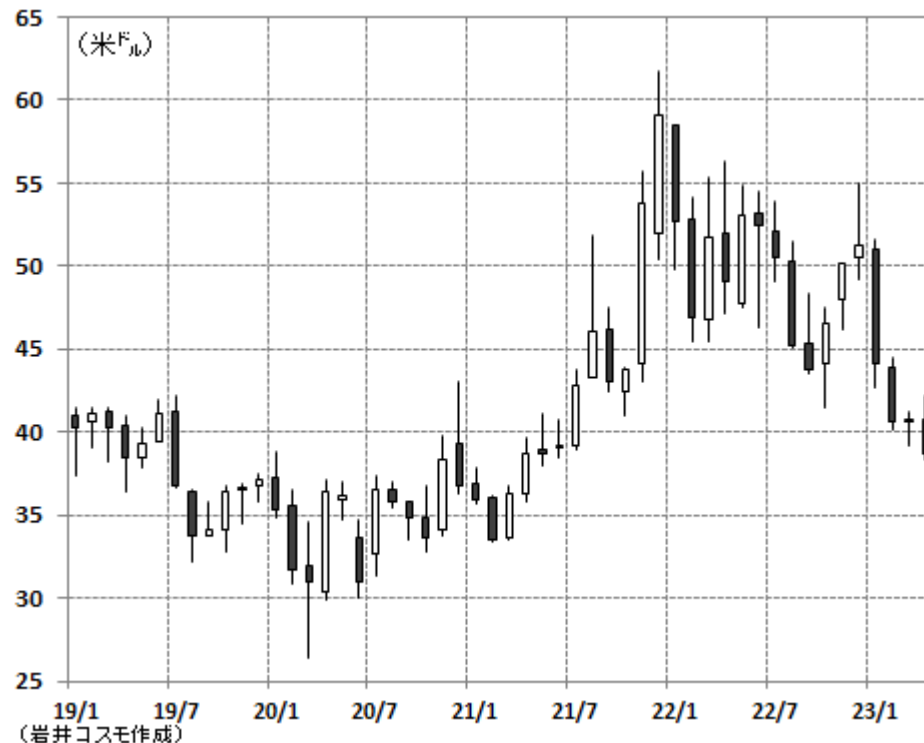
会社概要

処方箋薬の売上規模(21年)で世界トップの製薬大手。新型コロナワクチンや治療薬の開発で世界をリードし、21年度の売上高は前年比でおおよそ倍増と成長が加速。地域別の売上高構成は米国37%、欧州23%、新興国26%、その他15%(21年実績、四捨五入)。ワクチン以外の主力薬は乳がん治療の「イブランス」や抗凝固薬の「エリキュス」を抱える。本社はニューヨーク、従業員数は約83,000名(22年末)。

注目ポイント

□ **シーゼンの買収を発表**：ファイザーは米シーゼンを買収することで合意した。公表資料によると、ファイザーはシーゼン1株に対して現金229ドルを支払う。シーゼンは「抗体薬物複合体(ADC)」と呼ばれる医薬品の開発でリーダー的存在で、ADCでは抗体が高濃度の有効成分をがん細胞まで直接運ぶため、高い効果が期待される。

□ **米国が年1回のワクチン接種を検討**：米食品医薬品局(FDA)は新型コロナワクチン接種を年に1回、従来型と流行している変異型の2つに対応する2価ワクチンに一本化することを検討している。新型コロナが変異を続けているため、大半の人は年1度の接種が望ましいとした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

|           |                                 |
|-----------|---------------------------------|
| 株 価(米ドル)  | 38.74 ( 04/27 )                 |
| 52週高値(日付) | 54.93 ( 22/12/14 )              |
| 52週安値(日付) | 38.315 ( 23/04/27 )             |
| 時 価 総 額   | 2,187億ドル<br>29兆2,944億円          |
| 株価変化率(%)  | -18.3 (過去6ヶ月間)<br>-23.3 (過去1年間) |

株価指標 (バリュエーション)

|              |                  |
|--------------|------------------|
| 実績PER        | 6.4 (倍)          |
| 株価売上高比率      | 2.2 (倍)          |
| PBR          | 2.3 (倍)          |
| 税前配当利回り(%)   | 4.23 ( 直近年率 )    |
| 配当成長率(%)     | 2.5 ( 過去1年間 )    |
| 株主資本利益率(ROE) | 36.3 (%)         |
| 株式ベータ        | 0.71 ( 対S&P500 ) |

通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 税前利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 81,288        | —          | 24,311         | —          | 21,979         | —          | 3.85         | 1.56       |
| 2022/12 | 100,330       | 23         | 34,729         | 43         | 31,372         | 43         | 5.47         | 1.60       |

四半期業績

|         |        |   |       |    |       |    |      |      |
|---------|--------|---|-------|----|-------|----|------|------|
| 2021/Q4 | 23,838 | — | 3,827 | —  | 3,393 | —  | 0.59 | 0.39 |
| 2022/Q4 | 24,290 | 2 | 5,231 | 37 | 4,995 | 47 | 0.87 | 0.41 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

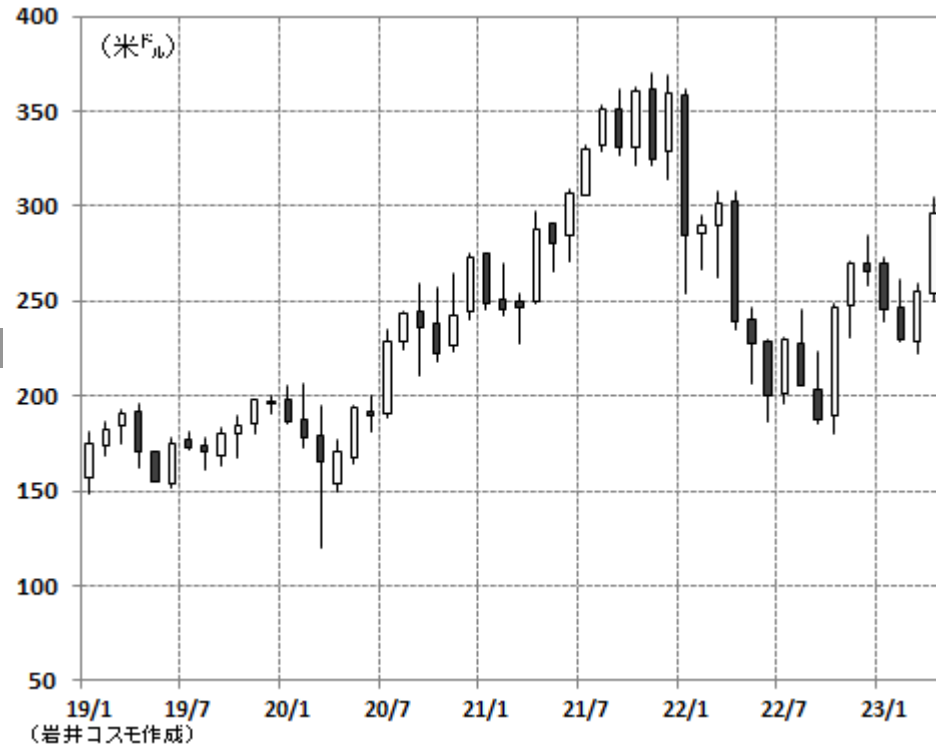
会社概要

「ダ・ヴィンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。21年末時点の稼働状況は、全世界で6,730台。22年度の全世界の手術件数実績は約188万件。日本は450台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ヴィンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **23年1-3月期は手術件数が好調**: インテュイティブが4月18日に発表した23年1-3月期決算では、売上高と調整後1株利益が市場予想を上回った。手術ロボット「ダ・ヴィンチ」を使った手術件数が前年同期比で26%増加した。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 295.92 ( 04/27 )              |
| 52週高値(日付) | 304.8 ( 23/04/19 )            |
| 52週安値(日付) | 180.34 ( 22/10/13 )           |
| 時価総額      | 1,037億ドル<br>13兆8,913億円        |
| 株価変化率(%)  | 21.2 (過去6ヶ月間)<br>21.6 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) |                |
|----------------|----------------|
| 実績PER          | 79.1 (倍)       |
| 株価売上高比率        | 16.3 (倍)       |
| PBR            | 9.2 (倍)        |
| 税前配当利回り(%)     | 無配 (直近年率)      |
| 配当成長率(%)       | — (過去1年間)      |
| 株主資本利益率(ROE)   | 11.3 (%)       |
| 株式ベータ          | 1.28 (対S&P500) |

| 通期業績    |               |            |                |            |                |            |              |            |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
| 2021/12 | 5,710         | 31         | 1,821          | 73         | 1,705          | 61         | 4.66         | 0.00       |
| 2022/12 | 6,222         | 9          | 1,577          | -13        | 1,322          | -22        | 3.65         | 0.00       |

| 四半期業績   |               |            |                |            |                |            |              |            |
|---------|---------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 営業利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
| 2022/Q1 | 1,488         | —          | 408            | —          | 366            | —          | 1.00         | 0.00       |
| 2023/Q1 | 1,696         | 14         | 388            | -5         | 355            | -3         | 1.00         | 0.00       |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 国際オイルメジャーの一角、連続増配30年超の配当貴族、バークシャー積極投資

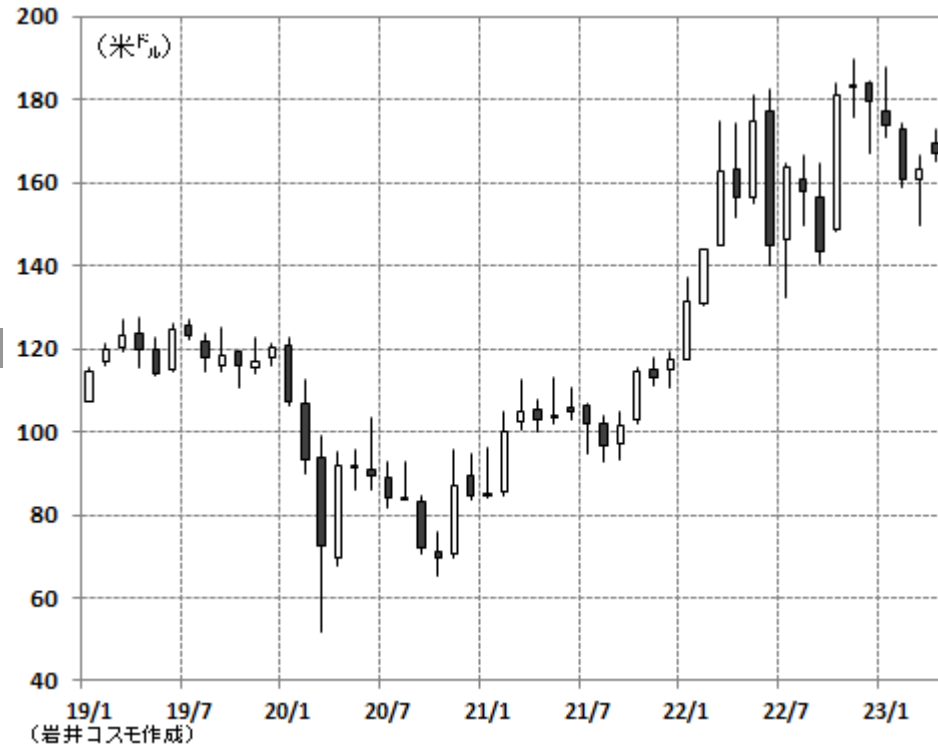
#### 会社概要

国際オイルメジャーの一角で川上(石油・天然ガスの探査・開発)から川下(精製・販売)まで総合的に手掛ける。米国、カナダ、ブラジル、ナイジェリア、インドネシア等に鉱区を保有し、北米や欧州ではシェール鉱区の開発も行う。21年末の確認埋蔵量は113億石油換算バレル。本社はカリフォルニア州サン・ラモン、従業員数は43,846名(22年末)。設立は1879年、エネルギー業種で唯一のNYダウ工業株平均構成銘柄。

#### 注目ポイント

□ **連続増配は36年目に、750億ドルの自社株買いも**：シェブロンは1月25日、36年目となる連続増配を発表。S&P500種の配当貴族(連続増配25年以上)構成銘柄で、エネルギー業界は同社とエクソン・モビルのみ。同日には新たに750億ドルの自社株買いを行う計画も発表した。好業績を背景に高水準の株主還元策を継続する。

□ **バフェット氏率いるバークシャーが積極投資**：バークシャーが同社への投資を22年第1四半期より積極化。バークシャーは22年12月末時点で普通株式の8%超を保有し、同社の筆頭株主となっている。



株価チャート (2019年以降・月足)

| 株価データ     |                              |
|-----------|------------------------------|
| 株価(米ドル)   | 166.95 ( 04/27 )             |
| 52週高値(日付) | 189.67 ( 22/11/14 )          |
| 52週安値(日付) | 132.54 ( 22/07/14 )          |
| 時価総額      | 3,163億ドル<br>42兆3,761億円       |
| 株価変化率(%)  | -7.2 (過去6ヶ月間)<br>3.2 (過去1年間) |

| 株価指標(バリュエーション) |                |
|----------------|----------------|
| 実績PER          | 8.5 (倍)        |
| 株価売上高比率        | 1.4 (倍)        |
| PBR            | 2.0 (倍)        |
| 税前配当利回り(%)     | 3.62 (直近年率)    |
| 配当成長率(%)       | 6.1 (過去1年間)    |
| 株主資本利益率(ROE)   | 23.8 (%)       |
| 株式ベータ          | 0.74 (対S&P500) |

#### 通期業績

| 決算期     | 売上高<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 税引前利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 当期利益<br>(百万ドル) | 前同比<br>(%) | 1株利益<br>(ドル) | 配当<br>(ドル) |
|---------|---------------|------------|-----------------|------------|----------------|------------|--------------|------------|
| 2021/12 | 162,465       | 72         | 21,639          | 黒転         | 15,625         | 黒転         | 8.14         | 5.31       |
| 2022/12 | 246,252       | 52         | 49,674          | 130        | 35,465         | 127        | 18.28        | 5.68       |

#### 四半期業績

|         |        |    |       |    |       |    |      |      |
|---------|--------|----|-------|----|-------|----|------|------|
| 2021/Q4 | 48,129 | —  | 6,985 | —  | 5,055 | —  | 2.63 | 1.34 |
| 2022/Q4 | 56,473 | 17 | 9,808 | 40 | 6,353 | 26 | 3.33 | 1.42 |

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 株式投資に関するご留意事項

### ◆手数料等について

#### ■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。  
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

#### ■外国株式

- ・国内取次手数料

|                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 約定代金が5.0万円以下の場合      | 約定代金の16.5%（税込）            |
| 約定代金が5.0万円超50万円以下の場合 | 8,250円（税込）                |
| 約定代金が50万円超の場合        | 最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込） |

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

#### ■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

### ◆主なリスクについて

|               |   |
|---------------|---|
| 株価変動リスク       | 政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。   |
| 新規公開株式にかかるリスク | 新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。 |
| 信用リスク         | 有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。                        |
| 流動性リスク        | 流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。  |
| 為替変動リスク       | 外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。  |

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。